#### 財務諸表に対する注記

#### 1. 重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却について

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。

- (2)引当金の計上基準
  - 職員退職給付引当金

職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額から中小企業退職金共済の積立金を控除した金額を計上している。

• 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるために、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

- (3)消費税等の会計処理について
  - ・消費税等の会計処理は、税込方式により行っている。
- 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
  - 1) 基本財産はない。
  - 2) 特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	
退職給付引当資産	33,380,017	3,335,465	1,563,573	35,151,909	
機能保証基金	7,295,008	321,400	279,400	7,337,008	
資産取得引当資産	39,304,000	18,630,000	6,545,000	51,389,000	
合 計	79,979,025	22,286,865	8,387,973	93,877,917	

- (注) \*退職給付引当資産の減少は、退職金の支払いによる。
  - \*資産取得引当資産の減少は旧水質試験室の改修工事により、建物附属設備を取得したことによる。

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち正味財産から の充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
退職給付引当資産	B職給付引当資産 35,151,909		0	(35,151,909)
機能保証基金	7,337,008	0	(7,337,008)	0
資産取得引当資産	51,389,000	0	(51,389,000)	0
合 計	93,877,917	0	(58,726,008)	(35,151,909)

# 4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物	218,696,874	44,677,301	174,019,573
建物附属設備	76,586,907	49,829,762	26,757,145
構築物	15,871,283	12,767,815	3,103,468
リース資産	94,983,794	54,065,966	40,917,828
什器備品	83,608,469	67,952,462	15,656,007
一括償却資産	2,494,410	1,192,104	1,302,306
合 計	492,241,737	230,485,410	261,756,327

# 5. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期》	当期末残高	
			目的使用	その他	
賞与引当金	11,957,000	12,163,000	11,957,000	0	12,163,000
退職給付引当金	33,380,017	3,335,465	1,563,573	0	35,151,909

# 6. 関連当事者との取引の内容

(単位:円)

氏名	職業	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
三日月 善夫	株式会社 日栄建設 代表取締役	当協会 理事	旧水質試験室改修工事(注)	6,545,000	建物附属 設備等	0

取引条件及び取引条件の決定方針

(注)高松市内3社の見積合わせにより選定し、理事会にて承認。

# 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載しているため、省略する。

### 2 引当金の明細

財務諸表に対する注記5. に記載しているため、省略する。